科目基礎	削青蜕									
<u>17口坐员</u> 科目番号	LIDTK	0083		科目区分	一般 / 選択	1				
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位:					
開設学科			吸工学科	対象学年	5	•				
開設期		前期	X-111	週時間数	2					
教科書/教	 材		WERFUL STEPS FOR THE TOEIC LIS	!	<u> </u>					
担当教員	1.5	中井洋		ISTENING AND READING TEST						
	<u> </u>	117171								
		HI 7 TO	 EICテスト形式に対応した設問に対し,		··・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
ルーブリ		пос, го	こに 人下が政に対応した政同に対し,	ロスで待ら出すことが、	<u>.ca.</u>					
ルーノン	リック		田相的も対応し ベルのロウ	標準的な到達レベルの		未到達レベルの目安				
評価項目 1			理想的な到達レベルの目安 自分の専門分野などの予備知識の ある内容や関心のある事柄に関す る報告や対話などを毎分120語程 度の速度で聞いて, 概要を把握し 情報を聞き取り、その内容の把 握を他に適用することができる.	の専門分野などの予備知識の 内容や関心のある事柄に関す 告や対話などを毎分120語程 速度で聞いて、概要を把握し 度の速度で聞いて、概要を把握し						
評価項目 2			関心のあるトピックや自分の専門 分野に関する論文やマニュアルな どの概要を把握し、必要な情報を 読み取り、その内容の把握を他に 適用することができる.	関心のあるトピックや 分野に関する論文やマ どの概要を把握し、必 読み取り、その内容を とができる.	ニュアルな 要な情報を	、情報を聞き取り、その内容を把握することができない. 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取り、その内容を把握することができない.				
評価項目 3			それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明、解釈の適用ができる.	それぞれの国の文化や を払い、その違いを受 容さが必要であること がら、その国のと生活習 信条、価値観な文化と 明し、解釈できる.	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明も、解釈もできない。					
学科の至 教育方法		頁目との[
既要		英語 [/	Ⅱ,Ⅲ,Ⅳで得た英語の知識技能を活用し	,,様々な種類の英文を「	⁻ 読み」, 「耶	徳く」ことでTOEIC等の資格試験に				
	 5方・方法		きる基礎的英語運用能力を育成する. 内容は学習・教育目標(A)<視野>[JAI	DEE世注4/4\/-\]+\ bzř	(6) /苹哥	、「1ADEE甘洗4/4 <i>\/5</i> \1/=++ + ナフ				
注意点		成とする <学業が の平均が せたもの ある。	みは概ね均等である。各定期試験の結果を6割、授業中に行われる小テストの結果,及びオンライン学習システムを用したTOEIC演習や課題等の評価を合わせたものを4割とした総合評価において6割以上を取得した場合を目標の達とする。 デ業成績の評価方法および評価基準>求められる課題の提出をしていなければならない。前期中間,期末の2回の試験 平均点を70%とし、小テストを10%、及びオンライン学習システムを利用したTOEIC演習とその他課題の評価を合れ たものを20%とし、その合計点で評価する。ただし、前期中間試験で60点に達していない者には再試験を課す場合さる。その場合には、再試験の成績が該当する試験の成績を上回った場合には、60点を上限としてその試験の成績を再 験の成績で置き換えるものとする。 単位修得要件>学業成績で60点以上を取得すること。 あらかじめ要求される基礎知識の範囲> 英語 I・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳで身につけた英語の基礎的運用能力 レポートなど・授業に関連する小テストおよび課題を課す。 備考>本教科は実際の英語資格試験に対応することを目指す授業である。自己学習を前提とした規定の単位制に基づ言業を進め、課題等の提出,及び小テストを求めるので、日常的に英語に触れる習慣を身につけ、英語学習に努めるこ							
		<単位値 <あらた <レポー <備考>	成績で直き換えるものとする。 多得要件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲> 英語 - トなど>授業に関連する小テストおよび - 本教科は実際の英語資格試験に対応する。	すること. 語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳで身に [・] び課題を課す. ることを目指す授業である	つけた英語の る、自己学習	基礎的運用能力 を前提とした規定の単位制に基づき				
运業計中	11	<単位値 <あらた <レポー <備考>	成績で直き換えるものとする。 多得要件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲> 英語 - トなど>授業に関連する小テストおよび - 本教科は実際の英語資格試験に対応する。	すること. 語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳで身に [・] び課題を課す. ることを目指す授業である	つけた英語の る、自己学習	基礎的運用能力 を前提とした規定の単位制に基づき				
授業計画	<u> </u>	<単位値 <あらた <レポー <備考>	成績で直き換えるものとする。 多得要件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲> 英語 - トなど>授業に関連する小テストおよび - 本教科は実際の英語資格試験に対応する。	すること. 語 I ・ II ・ II ・ IVで身に「 び課題を課す. ることを目指す授業であ めるので,日常的に英語	つけた英語の る、自己学習	基礎的運用能力 を前提とした規定の単位制に基づき				
授業計画	<u>1</u>	<単位値 <あらた <レポー <備業を注 と.	成績で直き換えるものとする。 家得要件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲> 英語 -トなど>授業に関連する小テストおよび -本教科は実際の英語資格試験に対応する 進め、課題等の提出、及び小テストを求	すること. 語 I・ II・ II・ IVで身に が課題を課す. ることを目指す授業であ めるので, 日常的に英語 週ごと 1. す とと る. す きる。 さ さること	つけた英語の る. 自己学習情 との到達目にいが読い で語ることを で記る文 文の流ででいる。 でごかでいる。 でごかでは、 でごかでいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	基礎的運用能力 を前提とした規定の単位制に基づき				
授業計画	<u>1</u>	Yell Yell	成績で直き換えるものとする。 家得要件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲> 英語 -トなど>授業に関連する小テストおよび -本教科は実際の英語資格試験に対応する 進め、課題等の提出、及び小テストを求 授業内容	すること. 語 I・ II・ II・ IVで身に が課題を課す. ることを目指す授業であ めるので, 日常的に英語	つけた英語の 習情 日本	基礎的運用能力を前提とした規定の単位制に基づきであることができる。4.教科書本の内容を理解しての設置で内容の要点を理解することができるができる。5. 正しい動詞の				
受業計画	īj 1stQ	く 位 位 付 付 付 付 付 付 付 付	成績で直き換えるものとする。 の経験ではできる。 のは以上を取得するとする。 のは、上を取得するとのでは、 のじめ要求される基礎知識の範囲> 英語 一トなど>授業に関連する小テストおよび、 本教科は実際の英語資格試験に対応する 性め、課題等の提出、及び小テストを求 授業内容 Unit 1 Airport	すること. 語I・II・II・IVで身に が課題を課す. ることを目指す授業であ めるので,日常的に英語 ります。 過ごと もうえる。 うちる。 ものは、 日本 という。 は、 もので、 日常的に という。 もので、 日常的に という。 もので、 日常的に という。 もので、 日常的に という。 もので、 日常的に という。 もので、 日常的に という。 もので、 日常的に という。 もので、 もので、 もので、 もので、 もので、 もので、 もので、 もので、	つけた英語の る. 自己る習情 る. 自己る習情 を こうである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でできたかる。 でできたかる。 でできたかる。 でできたかる。 でできたかる。 でできたかる。 でできたかる。	基礎的運用能力を前提とした規定の単位制に基づ意を身につけ、英語学習に努めるこである。2. 限られた時間内で、対策で内容の要点を理解することができる。2. なりかみながら、その内容を正確にできることができる。4. 教科書本文質が理解できる。5. 正しい動詞の理解できる。				
		Variable Variabl		すること. 語 I・II・II・IVで身に び課題を課す. ることを目指す授業であ めるので,日常的に英語	つけた英語の るに触れる習慣 と	基礎的運用能力を前提とした規定の単位制に基づ意を身につけ、英語学習に努めるこである。2. 限られた時間内で、対策で内容の要点を理解することができる。2. なりかみながら、その内容を正確にできることができる。4. 教科書本文質が理解できる。5. 正しい動詞の理解できる。				
		Yell Yell	成績で直き換えるものとする。 成績で直き換えるものとする。 高以上を取得す のじめ要求される基礎知識の範囲> 英語 トなど>授業に関連する小テストおよび 本教科は実際の英語資格試験に対応する 進め、課題等の提出、及び小テストを求 授業内容 Unit 1 Airport Unit 2 Train Station Unit 3 Department Store	すること. 語 I・II・II・IVで身に が課題を課す. ることを目指す授業であ めるので、日常的に英語	つけた 真	基礎的運用能力を前提とした規定の単位制に基づ意を身につけ、英語学習に努めるこである。2. 限られた時間内で、対策で内容の要点を理解することができる。2. 限られた時間内で、対策で内容の要点を理解することができる。4. 教科書本文質が理解できる。5. 正しい動詞の理解できる。				
		Yell Yell		すること. 語 I・II・II・IVで身に が課題を課す. ることを目指す授業であ めるので、日常的に英語 ので、日常的に英語 ので、日常的に ので、名 ので、名 ので、名 ので、名 ので、名 ので、名 ので、名 ので、名	つけた 自れる 習情 に 自れる 望情 に かい	基礎的運用能力を前提とした規定の単位制に基づまます。 ままりにつけ、英語学習に努めることの英語の内容を理解しその設問きる。 2. 限られた時間内で、対象で内容の要点を理解することができることができる。 4. 教科書本文質が理解できる。 5. 正しい動詞の理解できる。				
授業計画		Yell Yell		すること. 語 I・II・II・IVで身に が課題を課す. ることを目指す授業であらい ので、日常的に英語 1. をない。 3. ることと 3. ることと 3. ることと 4. とこと 5. をない。 1. をない。 1. をない。 1. をない。 2. をない。 4. をない。 5. をない。 5. では 1. をない。 1. をないい。 1. をないい。 1. をないいい。 1. をないいい。 1. をないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	つけた 自れる 習慣 に	基礎的運用能力を前提とした規定の単位制に基づまます。 ままりにつけ、英語学習に努めることの英語の内容を理解しその設問きる。 2. 限られた時間内で、対象で内容の要点を理解することができる。 4. 教科書本文章が理解できる。 5. 正しい動詞の理解できる。 6. かかかる. の用法が理解できる. 2. 取りかかる. の根法が理解できる. 3. ないができる. 3. ないができる. 5. ないしいあいる. ないができる. 5. ないしゃがかかる. カーはが理解できる. 5. ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない				
		Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye Ye		すること. 語 I・II・II・IVで身に が課題を課す. ることを目指す授業であらい ので、日常的に英語 1 にとる。3 る出法が 上海 上 I 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	つけた 自れ	基礎的運用能力を前提とした規定の単位制に基づます。 との英語の内容を理解しその設にする。 2. 限られた時間内で、対して内容の要点を理解することができる。 2. なりかみながら、その内容を正確にですることができる。 4. 教科書本文質が理解できる。 5. 正しい動詞の理解できる。 6. か分かる。 の用法が理解できる。 6. の用格が理解できる。 6. の用格が理解析格が理解析格が理解析格が理解析格が理解析格が理解析格が理解析格が理解析				

	10週	Unit	9 Fitness (Club			上記1.~4. 13.接尾辞の意味が理解できる.				
	11週	Unit 10 Sightseeing					上記1.~4. 14.派生語の品詞がわかる.				
	12週	Unit	Unit 11 International Conference				上記1.~4. 14.派生語の品詞がわかる.				
	13週	Unit	12 Compute	er Soc	iety		上記1.~4. 15.類似語、似た形式の表現がわかる.				
	14週	Unit	13 Employn	nent			上記1.~4. 16.同音異義語の意味の違いがわかる.				
	15週	Unit	14 Job Traiı	ning			上記1.~4. 17.形が似ている単語の意味、語法の違いがわかる.				
	16週	<u></u>									
モデルコアカリ	キュラム	の学習	内容と到過	全目標	Ē						
分類	類 分里		学習内容	学習	学習内容の到達目標			到達レベル 授業週			
評価割合											
	式験			小テスト		課題	合計				
総合評価割合	7	70			10	2	20	100			
配点		70		10	2	20	100				